



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月8日  
東

上場会社名 株式会社第一興商 上場取引所  
 コード番号 7458 URL <https://www.dkkaraoke.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 保志 忠郊  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 西原 康尚 (TEL) 03 (3280) 2151  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 2019年12月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	71,018	1.7	9,993	△4.6	10,697	△4.7	6,655	△8.2
2019年3月期第2四半期	69,823	1.2	10,474	△2.8	11,225	△2.2	7,253	△1.6

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 6,702百万円(△8.1%) 2019年3月期第2四半期 7,291百万円(△3.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	117.45	117.30
2019年3月期第2四半期	127.33	127.19

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	182,975	136,200	73.5
2019年3月期	188,814	132,636	69.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 134,481百万円 2019年3月期 130,915百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	56.00	—	56.00	112.00
2020年3月期	—	56.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	57.00	113.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	145,900	1.4	20,200	2.7	21,200	1.5	13,100	△16.0	231.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年3月期2Q	57,234,200株	2019年3月期	57,234,200株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2020年3月期2Q	557,762株	2019年3月期	580,290株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2020年3月期2Q	56,665,846株	2019年3月期2Q	56,967,945株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績の状況	2
(2) 財政状態の状況	4
(3) キャッシュ・フローの状況	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日、以下「当第2四半期」という。)におけるわが国の経済は、企業収益の改善や、設備投資の増加を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。米中貿易摩擦の深刻化による世界経済の減速懸念が高まるなど、依然として先行き不安定な状況が続いております。

当カラオケ業界におきましては、ナイト市場は依然として緩やかな減少傾向が続いているものの、カラオケボックス市場においては都市部を中心とした出店意欲は旺盛であり、10連休となったゴールデンウィークをはじめ、既存店が好調に推移するなど、身近なレジャーとして安定した需要が見られました。また、エルダー市場においては、認知症予防の観点から、自治体による「通いの場」創出にカラオケ活用が期待されることなどから、市場は順調に拡大しております。

このようななか、各事業におきまして諸施策を実施した結果、当第2四半期の業績は、カラオケ・飲食店舗事業が好調に推移したことなどにより、売上高・利益とも計画を上回る水準となり、売上高は第2四半期において過去最高となる71,018百万円(前年同期比1.7%増)となりました。利益面におきましては、新商品の10月発売に伴う展示会開催による一時的な費用が発生したことなどから、営業利益は9,993百万円(同4.6%減)、経常利益は10,697百万円(同4.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、6,655百万円(同8.2%減)となりました。

	(百万円)			
	前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	69,823	71,018	1,195	1.7%
営業利益	10,474	9,993	△480	△4.6%
経常利益	11,225	10,697	△527	△4.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,253	6,655	△598	△8.2%

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

## (業務用カラオケ)

当事業におきましては、引続き営業資産の買収を含めた機器賃貸件数の拡大と旧機種から新機種への入替え促進による安定的収益基盤の強化に努めるとともに、ミュージックビデオやLIVE映像の独占配信など、カラオケDAMの商品力強化に注力いたしました。エルダー事業におきましては、認知症予防へのカラオケ活用の効果に対する認知拡大に努め、稼働台数の拡大に注力いたしました。

また、10月には「LIVE DAM STADIUM」に代わる新たなフラッグシップモデル「LIVE DAM Ai(ライブダムアイ)」を発売いたしました。9月に東京・大阪・福岡で開催した新商品展示会では、来場者が5千人を超えるなど注目を集めており、発売以降、好調な受注が続いております。

以上の結果、機器賃貸件数は順調に拡大したものの、発売から4年が経過した「LIVE DAM STADIUM」の商品出荷が軟調に推移したことなどにより、売上高は前年同期比2.8%の減収となり、営業利益は新商品の発表に伴う展示会開催による一時的な費用が発生したこともあり、前年同期比9.7%の減益となりました。

	(百万円)			
	前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	31,941	31,043	△897	△2.8%
営業利益	8,082	7,298	△783	△9.7%

## (カラオケ・飲食店舗)

当事業におきましては、優良立地への出店と、顧客満足度の向上によるブランド力強化に努めました。ハード面においてはカラオケ12店舗、飲食5店舗を出店して業容拡大を図りました。ソフト面においては5月にビッグエコー全店でスマホ決済サービス8種類を導入するなど、お客様の利便性向上に努めるほか、引続き採用及び教育体制を強化し、提供するサービス品質の向上に努めました。また、飲食店舗の新業態として、6月には働く女性をターゲットとしたカレー専門店「Time is Curry シャポー市川店」、9月にダーツバー&カラオケ「REGALO TOKYO 秋葉原駅前店」をオープンするなど、新業態の開発と新規顧客の開拓に努めております。

以上の結果、アルバイト時給の上昇による人件費増などの影響はあったものの、10連休となったゴールデンウィークを含め、既存店が好調に推移したことなどにより、売上高は前年同期比4.7%の増収となり、営業利益は前年同期比4.3%の増益となりました。

(百万円)

	前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	30,031	31,441	1,410	4.7%
営業利益	3,054	3,185	130	4.3%

## (音楽ソフト)

当事業におきましては、当社グループネットワークを積極的に活用するなかで、引続きヒット曲の創出、新人アーティストの発掘に努め、一定の成果を収めました。また、業績不振が続く子会社2社の事業基盤強化を図るため、9月に組織再編を行い、業務の効率化を図りました。

以上の結果、売上高は前年同期比7.2%の増収となり、営業利益は147百万円の増益となりました。

(百万円)

	前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	3,606	3,867	260	7.2%
営業利益	△99	47	147	—

## (その他)

当事業におきましては、「ザ・パーク」ブランドで展開するパーキング事業が順調に拡大しているほか、コンシューマー向けストーリーミングカラオケサービスなども堅調に推移いたしました。

以上の結果、パーキング事業収入の増加などにより売上高は前年同期比9.9%の増収となり、営業利益におきましては、前年の一時的な不動産収入の剥落があったことなどから前年同期比1.3%の減益となりました。

(百万円)

	前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	4,244	4,666	422	9.9%
営業利益	830	819	△10	△1.3%

## (2) 財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ5,838百万円減少し、182,975百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動資産の現金及び預金が6,952百万円及びその他に含まれる前渡金が1,151百万円それぞれ減少し、たな卸資産が2,655百万円増加しております。

負債の部につきましては、前連結会計年度末に比べ9,403百万円減少し、46,774百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動負債の1年内償還予定の社債が6,500百万円、未払法人税等が2,387百万円及びその他に含まれる未払金が1,004百万円減少し、支払手形及び買掛金が1,225百万円増加しております。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末に比べ3,564百万円増加し、136,200百万円となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加6,655百万円及び剰余金の配当による利益剰余金の減少3,172百万円によるものであります。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ6,966百万円減少し、49,473百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、税金等調整前四半期純利益が10,346百万円、減価償却実施額が6,991百万円、たな卸資産の増加額が2,660百万円、前渡金の減少額が1,150百万円、仕入債務の増加額が1,231百万円及び法人税等の支払額が5,901百万円等により、前年同四半期連結累計期間に比べ1,749百万円減少し、11,489百万円となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、有形固定資産の取得による支出が4,325百万円、無形固定資産の取得による支出が2,652百万円、映像使用許諾権の取得による支出が953百万円及び敷金及び保証金の差入による支出が720百万円等により、前年同四半期連結累計期間に比べ1,000百万円減少し、8,100百万円となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、長期借入金の返済による支出が814百万円、社債の償還による支出が6,500百万円及び配当金の支払額が3,152百万円等により、前年同四半期連結累計期間に比べ6,736百万円増加し、10,299百万円となりました。

## (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月13日に発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	57,182	50,230
受取手形及び売掛金	5,205	4,698
たな卸資産	5,464	8,119
その他	6,762	5,596
貸倒引当金	△133	△127
流動資産合計	74,482	68,517
固定資産		
有形固定資産		
カラオケ賃貸機器（純額）	9,108	8,704
カラオケルーム及び飲食店舗設備（純額）	19,462	19,264
土地	39,794	39,794
その他（純額）	7,249	7,627
有形固定資産合計	75,614	75,390
無形固定資産		
のれん	3,407	3,105
その他	6,944	7,380
無形固定資産合計	10,351	10,486
投資その他の資産		
投資有価証券	4,849	4,426
敷金及び保証金	14,976	15,471
その他	8,612	8,753
貸倒引当金	△71	△69
投資その他の資産合計	28,366	28,581
固定資産合計	114,332	114,458
資産合計	188,814	182,975

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,469	4,694
短期借入金	3,264	3,119
1年内償還予定の社債	6,500	—
未払法人税等	6,030	3,643
賞与引当金	1,156	1,636
その他	12,689	10,876
流動負債合計	33,111	23,970
固定負債		
長期借入金	11,890	11,415
役員退職慰労引当金	909	858
退職給付に係る負債	6,670	6,899
その他	3,595	3,631
固定負債合計	23,066	22,804
負債合計	56,178	46,774
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	12,350	12,350
資本剰余金	4,003	4,003
利益剰余金	117,709	121,164
自己株式	△2,986	△2,870
株主資本合計	131,077	134,648
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	814	824
土地再評価差額金	△733	△733
為替換算調整勘定	47	△19
退職給付に係る調整累計額	△289	△237
その他の包括利益累計額合計	△161	△167
新株予約権	302	263
非支配株主持分	1,417	1,455
純資産合計	132,636	136,200
負債純資産合計	188,814	182,975



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	69,823	71,018
売上原価	42,448	43,859
売上総利益	27,374	27,159
販売費及び一般管理費	16,900	17,165
営業利益	10,474	9,993
営業外収益		
受取利息	35	13
受取協賛金	169	192
為替差益	219	—
その他	568	625
営業外収益合計	993	831
営業外費用		
支払利息	81	66
為替差損	—	2
解約違約金	76	1
その他	84	55
営業外費用合計	242	127
経常利益	11,225	10,697
特別利益		
固定資産売却益	7	0
投資有価証券売却益	61	39
特別利益合計	68	40
特別損失		
固定資産処分損	41	95
減損損失	9	67
投資有価証券売却損	—	96
投資有価証券評価損	—	130
特別損失合計	50	391
税金等調整前四半期純利益	11,243	10,346
法人税、住民税及び事業税	3,928	3,570
法人税等調整額	29	68
法人税等合計	3,957	3,638
四半期純利益	7,285	6,708
非支配株主に帰属する四半期純利益	32	52
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,253	6,655

## (四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	7,285	6,708
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△43	9
為替換算調整勘定	1	△66
退職給付に係る調整額	46	51
その他の包括利益合計	5	△5
四半期包括利益	7,291	6,702
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,258	6,650
非支配株主に係る四半期包括利益	32	52

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	11,243	10,346
減価償却費	7,237	6,991
のれん償却額	331	301
減損損失	9	67
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△224	△50
受取利息及び受取配当金	△124	△96
支払利息	81	66
為替差損益(△は益)	△252	55
投資有価証券売却損益(△は益)	△61	56
固定資産処分損益(△は益)	34	95
投資有価証券評価損益(△は益)	—	130
売上債権の増減額(△は増加)	41	495
たな卸資産の増減額(△は増加)	△48	△2,660
カラオケ賃貸機器の売上原価振替	37	33
前渡金の増減額(△は増加)	△231	1,150
仕入債務の増減額(△は減少)	126	1,231
未払金の増減額(△は減少)	△908	△796
その他	374	△57
小計	17,665	17,361
利息及び配当金の受取額	125	96
利息の支払額	△81	△67
法人税等の支払額	△4,470	△5,901
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,239	11,489
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△37	△13
定期預金の払戻による収入	48	—
有形固定資産の取得による支出	△5,032	△4,325
有形固定資産の売却による収入	11	1
無形固定資産の取得による支出	△2,247	△2,652
映像使用許諾権の取得による支出	△1,009	△953
投資有価証券の売却による収入	61	189
投資有価証券の取得による支出	△181	—
貸付けによる支出	△58	△76
貸付金の回収による収入	233	194
敷金及び保証金の差入による支出	△1,111	△720
敷金及び保証金の回収による収入	141	91
その他	82	163
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,101	△8,100

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	186	115
長期借入れによる収入	520	70
長期借入金の返済による支出	△1,063	△814
社債の償還による支出	—	△6,500
配当金の支払額	△3,190	△3,152
その他	△15	△16
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,563	△10,299
現金及び現金同等物に係る換算差額	252	△55
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	826	△6,966
現金及び現金同等物の期首残高	49,736	56,439
現金及び現金同等物の四半期末残高	50,563	49,473

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽ソフト	計				
売上高	31,941	30,031	3,606	65,578	4,244	69,823	—	69,823
セグメント利益又は 損失(△) (営業利益又は営業 損失(△))	8,082	3,054	△99	11,036	830	11,867	△1,393	10,474

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、BGM放送事業、不動産賃貸及びパーキング事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△1,393百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽ソフト	計				
売上高	31,043	31,441	3,867	66,351	4,666	71,018	—	71,018
セグメント利益 (営業利益)	7,298	3,185	47	10,531	819	11,351	△1,357	9,993

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、BGM放送事業、不動産賃貸及びパーキング事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,357百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。